



市長への手紙 市政への提言



「市長への手紙」とインターネットによる「市政への提言」は、市政に対するさまざまなご意見やご要望をお聴きする制度です。平成26年度は、1月末までに422件が秘書広報課に寄せられました。その内容は、すぐに対応できたもの、長期的に検討しなければならないものなどがありました。市では、皆さんの声を率直に受け止め、今後の施策に役立てられるよう努めています。今年度、いただいたご意見・ご提案の一部を紹介します。

教育部

- 小学6年生の8月に他市に転出したところ、小学校はそのまま同じ小学校に通学することができたが、中学校は転出先の市立中学校に通学することになった。中学校も小学校時代の友達のいる小平市の中学校に通いたい
- 健康維持のため、月に15日から20日ほど市民総合体育館のトレーニング室を利用しているが、利用料金が負担になるのでシルバー料金を設定して高齢者の運動しやすい環境を整えてほしい
- 花小金井北公民館をよく利用しているが、机にキャスターが付いていないため、高齢者には机を移動するのが困難である。新しいものでなくてもよいのでキャスターの付いた机をそろえてほしい
- 幼児が話をしながら本を選んだり、読んだりできるように、防音に配慮した子どもコーナーを設置して、周囲に迷惑をかけずに親子で図書館を利用できるようにしてほしい

都市建設部

- 家の前の道路に亀裂が入りだんだん大きくなっている。自動車が通るたびに大きな振動が起きるので補修してほしい
- 私道の管理は基本的に所有者の責任であると思うが、排水溝に落ち葉や泥が流入堆積し排水に支障が出た場合、市に依頼をすれば対応してもらえるのか
- 学園西町地域センターは駐車スペースからの道路の視界が悪く、自転車や歩行者の通行が見えにくいので、センター利用者が安心して利用できるように道路反射鏡を設置してほしい
- 自宅前の街路灯の電球が切れて周囲が暗くなっているため、電球を交換してほしい
- きつねばら公園は犬を連れて入ることが許されているが、リードを外して犬を遊ばせたり、園内でふん尿させて持ち帰らない飼い主がいて、高齢者や小さな子どもが安心して利用できない。犬の入園規制についてもう一度検討してほしい
- 経済的に苦しい高齢者は有料で体を鍛えることが難しいので、腹筋運動や、腰痛予防運動、踏み台運動のできる器具を地域の公園に設置してほしい

健康福祉部

- 消費税増税に伴う低所得者への臨時福祉給付金の申請手続きの詳細を教えてください
- 市の胃がん検診のレントゲン撮影で、あまりにも速いテンポで体勢を変える指示を出されたため、受診後に気分が悪くなってしまった。受診者の年齢に合わせた速さで撮影してほしい
- 高齢者の住み替えが難しい状況の中、市では高齢者への住宅供給についてどのような対策を行っているか

環境部

- 駅構内や各種施設では分煙が浸透しているが、駅前ロータリーや路上では歩行喫煙者による吸い殻の散乱や周囲の歩行者への受動喫煙の被害が多い。啓発用のチラシの配布や看板の設置、巡回員の配置などによる歩行喫煙防止の強化週間を設けてほしい

市民生活部

- 農家の作業を無償で手伝うなど、高齢者が暇を解消し技能を生かして貢献できる仕事を紹介してほしい

企画政策部

- 市報ごだいらの会員募集欄は、サークルの特長を記入する備考欄が狭いのでスペースを拡大してほしい

都市開発部

- 高齢化が進む中、実証実験運行中のコミュニティバスは、高齢者や身体に支障のある者にはとても便利な交通手段である。運転士もとても親切で利用しやすく、本運行が決まることを願っている

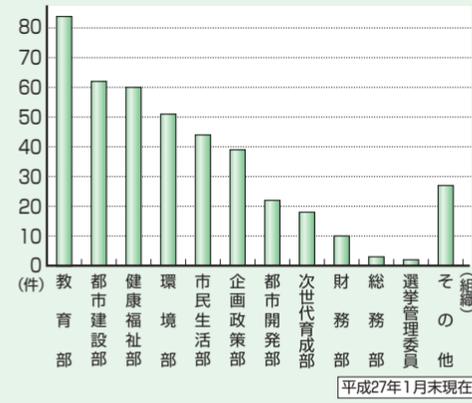
次世代育成部

- 私立幼稚園は経済的に厳しいので公立幼稚園の設立を検討してほしい

その他

- マフラーを違法改造した二輪・四輪車両が朝夕、深夜と大音量を響かせる。運転者、改造業者へ厳しい取り締まりを行ってほしい
- 上水公園南側先玉川上水緑道に残っている切り株は、通行者がつまずくことが多いので取り除いてほしい

「市長への手紙」・「市政への提言(メール)」受理件数



市長への手紙専用はがき設置場所

市役所、健康福祉事務センター、健康センター、東部・西部出張所、公民館、図書館、地域センター、福祉会館に設置しています。備え付けの提案箱、または郵便ポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。いただいた手紙は、市長が目を通すとともに、各担当課で検討し、今後の市政の参考にさせていただきます。また、「市政への提言」を小平市ホームページで受け付けています。なお、封書およびファクシミリでも皆さんのご意見・ご要望を受け付けています。

問合せ 秘書広報課 ☎042(346)9508、FAX042(346)9507



市民と市長の対話集会

平成26年度

タウンミーティングの報告

タウンミーティングは、平成17年5月から始まり、これまで52回開催し、延べ1千38人が参加しました。今年度で開催したタウンミーティングでの皆さんの意見・提案の一部を紹介します。

地域でつくり支える生活交通

◆5月17日(土)開催
▼コミュニティタクシー栄町ルートは、最近男性客が多く、時間によっては定員を超えてしまう場合があります。乗車定員を増やすにはどうしたらよいのか
▼にじバスは5千万円の経費のうち、2千万円が市の持ち出しとのことだが、車両のみを市が所有し運行を委託業者に任せる方法は考えられないか
▼市にレッドアロー号が停車すれば住民が増えるのではないかと。人が集まるような施設を誘致することが必要だと思ふ
▼車椅子で生活しており、おそろ号を利用しているが、無料で利用できることを申し訳なく思っている。にじバスを利用しても50円かかるので、受益者負担があってもよいのではないかと
▼コミュニティバスの運行ルートはどのように決めていくのか
▼地域でコミュニティバスを走らせようという団体ができ、栄町ルートでは20〜30の案が出たと思う。実証実験運行を経て現在のルートになった
▼コミュニティバスの実証実験運行

若者と政治について考える

◆11月1日(土)開催
▼小平市長3期目に新たに取組みたい、または、取り組んでいる施策は何か
▼市の「子どもの貧困」についてどのように把握され、どのような対応が取られているか
▼市内の図書館は、自習できる部屋が狭いので、地域の若者を対象とした学習スペースを増やしてほしい
▼市内に通う大学生向けに、小平市奨学金制度を創設してほしい
▼原発ゼロ、年金問題、外交方針など国政レベルの議論を地方選挙に持ち込むことは是非についてどう考えるか
▼高齢者に比べてかなり低い若者の投票率を上げたいと思ふか
▼若者を対象にしたものとしては、どのような施策を実施しているか
▼ネット選挙の解禁は、若者の投票率アップにつながると思ふか

これからの地域活動

◆12月13日(土)開催
▼けがや病気で長く歩くことができず、移動手段を持たない高齢者が増えることが予想されるので、にじバスやコミュニティタクシーの運行ルートを増やすことが必要だと思ふ
▼マンションの住民は自治会への加入率が低い。自治会の加入率を上げるにはどうしたらよいのか
▼震災があったことから防災を理由に自治会を作り、消防署員と一緒に戸別訪問を行っている
▼小学生のいじめなど問題が多くなっている。地域のどこに小学生がいるのか、情報がないのでわかりにくい。おかしな様子があれば学校に連絡している
▼昔は授業参観日しかなかったが、現在は公開授業や、地域の人が参加して昔遊びなどを行う「ふれあいマナーデー」、高齢者が児童と一緒に給食を食べる「ふれあい給食」などが市内の学校で行われている。教育現場は公開の道を選び、地域の人たちは協力的になっていると思ふ
▼子ども家庭支援センターは人手が足りないように思えるので、もっと充実してほしい
▼世代間交流のできる場所として、コミュニティカフェを開いている。家賃の負担はないが、光熱費などがかかるので補助があるか知りたい
▼市の公共施設は、いまだに和式トイレが多い。利用者にとっては使いづらいので洋式トイレに改善してほしい



タウンミーティングの様子

平成24年度以降のタウンミーティング

開催日	会場	テーマ
平成24年 6月30日(土)	小川西町公民館	地域の課題やこれからのこと
7月14日(土)	仲町公民館	
11月17日(土)	大沼地域センター	市政全般について
平成25年 11月8日(土)	中央公民館	
12月8日(日)	小平元気村おがわ東	
平成26年 2月16日(日)	上水新町地域センター	市政全般について
5月17日(土)	ブリヂストンTODAY	地域でつくり、支える生活交通
11月1日(土)	嘉悦大学	若者と政治について考える
12月13日(土)	小川西町地域センター	これからの地域活動